議会だより のだ

2019
2/8
第146号

ホームページ　http://www.vill.noda.iwate.jp/
Eメール　gikai_jimukyoku@vill.noda.iwate.jp

良い年になりますように

平成30年12月　第14回定例会

主なもの

新年のごあいさつ － P2
議会で決まったこと － P3
「特集」議員定数 現状維持へ － P4・5
村政に鋭く切り込む － P6～

1月15日、村内で小正月行事が行われ、役場前ではどんと焼きや大黒舞の披露、だんごしば（みずきだんご）の飾りつけなどが行われました。園児たちは、心を込めて丁寧に飾りつけを行いました。

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます

「東日本大震災」から八年が経過しようとしており、ハード面の復興については概ね目処が立ちましたが、人口減少問題や雇用の場の確保、定住対策など多くの課題が山積しております。

本年も村民の皆様の負託に応えるべく、議会の果たすべき役割と責任を認識し、直面する諸課題の解決に向け議員一丸となって取り組んで参ります。

本年が「災害のない、事故のない、穏やかな年」でありますよう祈っております。

野田村議会議長　貳又　正人

12月定例会

補正予算など計7議案を審議

12月定例会（第14回）は、12月11日から14日までの4日間の会期で開かれました。一般会計補正予算などの審議のほか、議会改革等に関する調査特別委員会から、調査結果報告があり、議員定数は現状の12人とすべきとの報告がありました。その後、議員定数を10人に削減する改正条例案が発議されましたが、反対多数で否決しました。

一般会計補正予算

6529万円増

一般会計では、歳入歳出に6529万円を増額し、総額で45億1178万8千円としました。

歳入では、被災地福祉灯油等特別助成事業費補助金90万円、地域情報通信施設移転補償費956万円など増額。歳出では、地域情報通信移転補償費、福祉灯油購入助成事業180万円のほか観光施設修繕経費250万円などを増額しました。

観光施設の修繕内容は

問 観光施設修繕経費の内容は。

答 観光物産館の屋内トイレとさわやかトイレの和式トイレの一部を洋式化するもの。

トイレ個室内へのベビーチェアの整備は

問 観光施設のトイレ個室内にベビーチェアを設置する考えは。

答 スペースが狭く、現時点では設置しない方向だが、仮に設置できるスペースがあれば考えていきたい。

利用者の利便性の向上のため早期の整備が望まれます

村道「野里袋線」認定

12月定例会で村道認定に関する議案1件が提出され、可決されました。場所は北区で、名称は道路の起点と終点の小字から「野里袋線」となりました。今後は生活道としてだけではなく、災害時の避難路としての活用も見込まれます。

長峯教育委員の再任に同意

平成31年1月15日をもって任期満了となる教育委員会の委員として長峯幸恵氏を再任することに同意しました。任期は平成31年1月16日から4年間です。

特集
議員定数

議員定数 現状12を維持

定数を減らす発議案提出も否決

12月定例会では、議員定数に関して激しい議論が行われました。議会改革等に関する調査特別委員長から議員定数に関し、定数は現状の12人とすべきとの報告があったものの、委員長報告後、議員定数を10人に削減しようとする改正条例案が発議され、採決の結果、反対多数で否決しました。

特別委員長報告「定数維持すべき」

平成28年8月臨時会において、議会改革等に関する調査特別委員会（廣内和之委員長、委員10名＝議長を除く）に議員定数に関する調査を付託し、調査検討を行ってきました。

最終的には、現状維持と削減の2つの意見が出されましたが、表決の結果、現状維持が多数を占め、委員会の意見としてまとめました。

定数10人とする改正発議案提出

本会議で、特別委員長から調査結果の報告が行われた後、八幡文耕議員から議員定数を現状12人から10人に削減しようとする改正条例案が提出され、討論を行った後、採決を行いました。採決の結果、賛成4人、反対7人の反対多数により否決しました。

発議案の内容

議案名
野田村議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

発議案提出者
八幡文耕議員

議案内容
議員定数を現状の12人から10人に削減しようとするもの。

提案の理由
人件費をはじめとする財政運営及び村民の意見等を総合的に勘案したところ議員定数の削減が必要であるため。

反対討論
米田忠一 議員

議員定数を減じることが必ずしも議会改革ではない。議員は住民の代表として、様々な考え方で議論し、諸課題に対応していくことが肝要だ。そのためにはなるべく多くの人の参画が必要である。議員は地域を代表しているという側面もまだまだ否定出来ない。本村議会では現在、広報委員会を設置し、見やすく読んでもらえる広報づくりに取り組んでいるが、これから他の分野でも改革を進めて行けるか、というふうに考えている。常任委員会の委員構成も現在より少なくなれば困難が予想される。以上のことから、現状の12名の定数を維持すべきと考え、反対討論とする。

≪野田村議会　議員定数・報酬の推移≫

施行日	議員定数（人）	議員報酬月額（円）		
		議長	副議長	議員
～平成15年1月1日	16	272,000	212,000	191,000
平成15年1月1日～	14			
平成16年4月1日～		268,000	210,000	190,000
平成17年4月1日～		260,000	205,000	185,000
平成18年7月1日～		246,000	194,000	175,000
平成19年1月1日～現在	12			

反対討論
宇部武典議員

村民の中に確かに議員が多すぎるという声があるが、これは議会や議員の質が問われているのではないかと受け止めるべきだ。数ではなく質で更なる自己研鑽と議会基本条例など、議会改革の活性化などに向けて努力する事によって、この村民の疑問に答えていく、期待に応えていくべきである。地方自治は、住民からの直接選挙で選ばれた首長と住民の代表である議員で構成する議会との二元代表制によるもので、議会は執行機関に対して規範と監視、政策立案と政策提言などを行う役割を持っている。定数削減は民意の反映を削減し、議会制民主主義の発展を阻害することにつながる。また女性の社会進出、あるいは若い世代も含め、現役子育て世代など、各階層・各分野から議会が構成されることが望ましいのは言うまでもない。これ以上の削減は、議会への進出の道を狭める事にもなり、住民の自治権を縮小させることになる。定数を10にした近隣の自治体議員に聞いたとき、減らし過ぎたと後悔していた。私たちは地方自治体の末端の議員として住民と直接結びつく、そういう機能を豊かにする必要があればこそ、減らすことは、言ってみれば自殺行為につながるのではないかというふうに強く懸念している。以上のことから反対討論とする。

※討論内容は一部抜粋して掲載しています。

ー 採決結果 ー

野田村議会の議員の定数の一部を改正する条例

賛成（10人とすべき）	反対（12人とすべき）
耕男子之	典
文幹陽和	武吉 古比進郎一男和
幡館田内	部岡澤田田野寺川
八古山廣	宇岩内米米小中
4人	7人

※ 議長は採決に加わらない

反対多数により 否決

村政を問う

～一般質問 5人が登壇～

米田 徳一郎 議員
－ 中沢地区の農道改修は －

古舘 幹男 議員
－ 避難道路を点検すべき －

山田 陽子 議員
－ 小学校新築 なぜ現在地なのか －

中川 大和 議員
－ ﾌﾟﾚﾐｱﾑ商品券の経済効果は －

宇部 武典 議員
－ 住宅再建支援金の引き上げは －

議案内容と審議結果

11月臨時会

（11月１日）

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第１号	**野田村役場庁舎受電設備等災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて** ⇒役場の受電設備（キュービクル）の復旧工事を行うため、種市電工株式会社（洋野町）と請負契約を締結するもの	**可決（賛成全員）**
議案第２号	**宇部川第５排水区ポンプ場建設（機械・電気）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて** ⇒宇部川（北区）の第５排水区ポンプ場の建設工事を行うため、昱機電株式会社向洋電気事業所（盛岡市）と請負契約を締結するもの	**可決（賛成全員）**

12月定例会

（12月11日～14日）

議案番号	議案名及びその内容	議決結果
議案第１号	**平成30年度野田村一般会計補正予算（第４号）** ⇒歳入歳出予算に6,529万円を追加し、予算総額45億1,178万円とするもの	**可決（賛成全員）**
議案第２号	**平成30年度野田村公共下水道事業特別会計補正予算（第３号）** ⇒歳入歳出予算に9,001万円を追加し、予算総額７億5,128万円とするもの	**可決（賛成全員）**
議案第３号	**野田村体育館屋根改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて** ⇒村体育館の屋根の改修工事を行うため、株式会社小山組（久慈市）と請負契約を締結するもの	**可決（賛成全員）**
議案第４号	**岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて** ⇒紫波、稗貫衛生処理組合が解散することに伴い、所要の整備等を行うもの	**可決（賛成全員）**
議案第５号	**村道路線の認定に関し議決を求めることについて** ⇒新たに村道として「野里袋線」（北区）を認定するもの	**可決（賛成全員）**
議案第６号	**教育委員会の委員の任命に関し議決を求めることについて** ⇒任期満了を迎える教育委員会の委員に長峯幸恵氏を任命（再任）するもの	**可決（賛成全員）**
発議案第１号	**野田村議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例** ⇒議員定数を現状の12人から10人に削減するもの	**否決（反対多数）**

米田 徳一郎 議員

中沢地区の農道改修は

村長　付設替えを基本に設計進める

問　中沢地区の農道改修の内容とその時期は。
　また、高潮などで通行止めになる県道野田長内線の迂回路としての機能強化について県の考えを確認しているか。

村長　中沢地区の農道は30年以上経過し老朽化が見られることから側溝改修に向け実施設計を進めている。改修は側溝の付設替えを基本に平成31年度の工事を予定している。
　迂回路は、県では市道上長内平沢線、市道川原屋敷線を経由するルートを想定しているようだ。

機能強化に向けて、県に対して
強く要望することを望みます

問　側溝改修は、部分的なものか、それとも道路面や縁石等に及ぶものか問う。
　また、迂回路は、実態のある中沢線を県に対し強く働きかけるべきでは。

村長　側溝改修を基本に施工し縁石などは地域住民や関係者と協議して進める。
　迂回路は数年前から県に対し要望しているが、現段階では難しいというのが県からの回答だ。県が想定する市道ルートは距離、道路状況も良いとは言えないため、今後も強く要望を続けていく。

産業振興の状況を問う

問　今年度の施政方針で示した産業振興施策の成果と課題、新年度予算に向けた施策と展望を問う。
①農業振興について、新規就農支援の成果は。
②漁業振興について、磯焼けによる磯資源へ大きな影響が出ているが村の対応と支援は。

村長　①栽培技術や経営ノウハウの習得、ハウスや資材の整備などを関係機関と連携し支援しており、本年度は菌床しいたけで40代の方が就農を開始した。今後は経営の安定に向け必要な研修を継続し、新規就農者や担い手の確保に努める。
②水産庁では磯焼け対策全国協議会や調査委託等を実施し、新しい知見を取り入れ平成27年にガイドラインを改定した。磯焼けの原因は海水温の上昇による沿岸環境の悪化によりウニや巻貝が海草の種苗を食べる食害が考えられている。まずは野田村漁協でガイドラインを参考に主体的に対策に取り組んでいただき、必要に応じて支援していく。

仮設店舗の運用状況と処分方法は

問　自立再建者等との公平性を重視し、期限到来後の利用は有償で、それ以外の場合は解体撤去するとの説明だが、その根拠、前例との整合性、他市町村の事例を含めた見解を問う。

村長　現在7カ所の仮設店舗に10事業者が入居しているが、本年度末で供用を終了する。入居中の事業者は本設再建の予定がなく、事業継続を希望する事業者のうち、民有地に単独入居している場合は有償譲渡、村有地に入居している場合は賃貸として事業継続できるよう支援する。有償譲渡・賃貸とする理由は自己負担で再建した事業者との公平性を確保するもので、事業者の負担軽減には十分配慮する。他市町村の状況は特別な事情がある場合を除き供用を廃止し、廃止後の取り扱いはその市町村の再建状況で判断されている。

【その他質問】
・風疹撲滅の取り組みについて
・空き家対策・定住促進について

避難道路を点検すべき

村長　機会捉えて地域から意見を聞く

古舘　幹男 議員

問　災害時の避難場所は高台にあり、階段を登ることになるが、年配の方、歩行の不自由な方にとって階段を利用することは大変であり、手すりが必要な所もあると思うが、避難道路も含め点検すべきでは。

村長　避難に支障があるような場所については、機会を捉え、地域から意見等を聞く。

問　夏場と冬場では道路状況は変わるため、状況を把握していくようなパトロールを計画してはどうか。

安心して使える避難路の整備が課題です

村長　現員の職員数では難しい部分もあるが、職員内での情報共有も進めて行きたい。

ドローンの活用は

問　様々な分野でのドローンの利活用が報道されているが、広域的に取り組んでいく考えは。

村長　本村では平成30年度予算で購入し、講習等を終えた。現在、日常業務の合間に操縦技術の向上に励んでいる。広域連携等については、今後検討していきたいと考えている。

漁業の担い手対策は

問　漁業後継者、担い手の要請等の状況は。

村長　地域おこし協力隊の募集のほか、新規就漁の補助制度もあるが、待ってるだけではなかなか来ない。東京等で行っている就労支援フェア等で、漁協と村の職員で一緒に出掛け、情報発信を進めている。今後も地道に努力をしていく。

村づくりの展望を問う

問　復旧、復興事業の目途がつき、本来の独自予算での姿になると思うが、これからの野田村は、このまま単独で行くのか、新たな広域での連携を考えていくのか、村長の考えは。

村長　住民の福祉向上を第一にケースバイケースに考えていく。

問　安家川という資産を村の売りとして使えないか。

村長　安家川に限らず、様々な自然資源や観光資源がある中、それを有効に活用できていない。復興事業等を含めた人的交流や観光交流が村の活性化に必要。安家川については、漁業権等のこともあり簡単には言えないが、村全体の中で検討していきたい。

中学生のクラブ活動で合同チームの考えは

問　中学生のクラブ活動で生徒数の減少により、団体競技では他校と連携しないとチームが組めない状況をどのように捉えているか。

教育長　生徒数の減少で、それぞれ部活動の運営が厳しい状況と認識しており、本村に限らず、大会出場のため他校との合同チームを編成するケースが増えている。合同チームは地区大会を突破すれば県大会にも出れるため、生徒の活躍の場を広げる意味でも、この地域では大事だと考えている。団体競技ではなんとか部員を確保しながら、合同チームでも大会に出場できればと思っている。

【その他質問】

・各種大会後のお礼状について

山田　陽子 議員

小学校新築 なぜ現在地なのか

村長　素案づくりのため一つの案として示した

問 野田小学校新築整備計画において、検討会を立ち上げ11月に小学校の保護者にアンケートを実施したようだが、時期は適当か。

教育長 基本構想となる素案づくりのため、検討会で協議しこの時期となった。

問 津波・大雨等の災害や防犯、避難所としての役割などを総合的に考えた場合、白紙の状態で調査すべきでは。

村長 白紙であれば色々悩むと思うので、それなりの考えを持ち教育委員会として進め、決して誘導するような形ではない。

広く意見を募集し、検討していく必要があります

問 検討会の構成メンバーは。

教育長 小学校の学校評議員2名、学校長、副校長、PTA会長、副会長2名、教育長の計8名である。

問 消防関係者や地域代表者なども構成メンバーとして検討すべきでないか。

教育長 様々な方の意見を聞きながら進めていく。

問 アンケートの対象者を広げる考えは。

教育長 素案をまとめた後、住民へ示し、パブリックコメントを得ていく。

保育士の受け入れは

問 来年度の保育士の受け入れとその対応策は。

村長 年度内に「子育て支援員研修」を実施し、保育士の負担軽減を図り安全安心な保育環境を確保し、保育会と協力して保育士の確保に努めていく。

子育て支援員の配置
保育補助者の向上と保育士の勤務時間を超える部分に子育て支援員の代替えが可能となる。

栄養士不在への対応は

問 栄養士の不在対応について、来年度の対応は。

村長 募集しているが、現時点で応募がない。今後も募集を継続し栄養士の確保に取り組んでいく。

教室内へのエアコン整備を

問 小中学校にエアコンを設置し、学習環境を整備すべきと考えるが。

教育長 現状、小・中学校とも保健室にのみ設置済みである。今回、国に小学校の1・2年生教室に設置を要望しており、可能であれば順次段階的に整備していきたいと考えている。

健康運動器具の整備は

問 人生100年時代、健康寿命が叫ばれている中、体育館2階の健康運動器具を使用できるように整備してほしい。

教育長 現状を確認したところ、劣化が著しく、安全な使用が難しい。

問 軽スポーツ・ウォーキングなど、積極的に健康管理に関心を持つ村民が増えて、筋力トレーニングの必要性も叫ばれている中で、前向きな検討が必要ではないか。

教育長 役場内のプロジェクトチームからもトレーニング機器の整備についての声があり、今後検討していきたい。

プレミアム商品券の経済効果は

村長　村内事業所での購買誘導に有効

中川　大和 議員

問　村からの助成を受け発行しているプレミアム商品券において、村内での経済効果はどのようになっているか。

村長　プレミアム商品券は村内での消費喚起、村外への購買流出に少しでも歯止めをかける目的で行っている。商品券は主に食品、燃料、飲食などの小売・飲食業で利用されていると伺っており、ほぼ100％の利用率で推移している。

問　今年度、複数回に分けて発行したことにより購入できなかった方もいたようだが、分割による商品券発行に至った経緯は。また、発行枚数を増やす検討をしてはどうか。

村長　従来は年1回冬場の発行であったが、年間を通じてプレミアム効果を演出するため、複数回に分けて発行したと聞いている。1回あたりの発行数が減少したことにより、購入できなかった方もあったと聞いているので、発行形態等について事業主体である商工会とともに検証しながら改善策を協議していきたい。

村内事業所を積極的に利用していただくことで
村の経済の活性化に繋がります

スタンプ事業への補助は

問　商工会のスタンプ事業において、カードリーダー機器導入補助の検討は。

村長　以前にも機器導入の話があり商工会で検討したが、どうしても事業者負担が出てくるということで意見がまとまりきらず断念した経緯がある。事業者の意見を集約しながら、事業導入をしたいとなれば、様々な補助の検討を行っていく。

小学生へのプログラミング教育は

問　2020年度からプログラミング教育が必修化されるが教材端末の整備状況は。

教育長　現在、タブレット端末が無線ラン環境と併せて小学校に35台、中学校に40台整備されており、校舎内での情報通信技術を活用したプログラミング教育に対応できるものとなっている。

問　教育の多様化により教員の多忙化への対応は。

教育長　多忙化については、学校地域支援コーディネーターや支援員の配置のほか、部活動方針の策定、時間外勤務の実態把握を行いながら長時間労働の軽減に努めていく。

宇部　武典 議員

住宅再建支援金の引き上げは

村長　増額に向け継続して要望する

問　住宅建築費は震災後、約20％上昇し、30坪の家を建てれば291万円の負担増となり、それだけで支援金の300万円は飛んでしまう。支援金を500万円へ引き上げるべきでは。

村長　現行の制度では効果が十分とは言えず、増額を図るよう今後も要望を継続していく。

問　災害公営住宅家賃は6年目から引き上げになるが軽減策は。

村長　低所得者に向けた県の減免基準に準拠した減免を行っている。

仮設店舗の活用方針は

問　仮設店舗の無償譲渡を避けた理由は「自立再建した業者と今後賃貸借予定業者との負担の公平」との答弁だったが、無償譲渡に踏み切った陸前高田市では不公平という見解は出なかった聞いたが、村ではどのような不公平が生じるのか。

村長　すでに本設再建した業者と来年4月以降に賃貸で事業継続する業者間で負担の有無が生じないよう有償とした。

問　仮設店舗の使用期限を平成32年度まで延長すると国は決め、村内の事業者からも退去期限の延長を望む声がある。村の計画ありきではなく、被災者の意向を採るべきではないか。

村長　今回の延長は区画整理事業などの遅れに対応したもので、本村の場合は事業者に本設再建の予定がないため、本年度末で仮設店舗の供用を終了する。

被災者支援策周知徹底を

問　①被災者の医療費・介護保険利用料の免除②被災地福祉灯油助成③小学校までの医療費現物給付化の被災者支援策が実施されているが村民に広報するべきでは。

村長　「広報のだ」や対象者への通知などでそれぞれお知らせする。

国保税の引き下げを

問　国保事業の広域化で40％の世帯で国保税が高くなった。一般会計からの繰り出しで負担軽減を図る当面の対応と村長の考えは。

村長　公費負担の拡大は不可欠と考えており、当面、村の一般会計からの繰り入れを継続するとともに、引き続き国へ要望する。

学校教育を問う

問　学校などへのエアコンを設置する考えは。

教育長　小学校1・2年生の教室への設置を要望しており、順次整備したい。

村長　保育所などは設置済みで、ことぶき荘は一部設置とのこと。

問　就学援助基準・修学旅行費用の事前支給は。

教育長　生活保護基準の引き下げに連動せず従前どおり対象にする。毎月積み立てているので事前支給の必要性は低い。

問　学校給食費の無償化は。

教育長　無償化は考えていない。地元食材を取り入れた給食にしたい。

【その他質問】

・漁業法改悪に反対を

・消費税増税に反対を

子育てにやさしい村の実現に向けて
教育・学習環境の向上も必要です

発行日／平成31年2月8日
発行責任者／野田村議会議長
印刷／有限会社マルニ印刷
編集／野田村議会広報編集委員会
〒028-8201 岩手県九戸郡野田村大字野田20-14
TEL.0194-78-2934 FAX.0194-78-3995

新企画

議会だよりクイズ

正解者の中から抽選で３名の方に豪華景品をプレゼント！

《問題》

12月定例会で村道に認定された北区地区の道路の名前は？

① 野田袋線

② 野里袋線

③ 城内袋線

【応募方法】
はがきやＦＡＸなどで、答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は一人１通までとし、匿名での応募は受け付けません。
議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応 募 先】
〒028-8201　九戸郡野田村大字野田20－14
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで
ＦＡＸの場合は 0194-78-3995 まで

【締め切り】２月28日消印有効とします。

【当選発表】
次回号で当選者（特に断りが無い限り氏名）を発表します。

議　会　の　動　き

9月

１日	米田部落会二百十日祭	副議長
２日	上明内地区二百十日祭	議　長
５日	知事を囲む懇談会（盛岡市）	議　長
14日	野田村敬老会	全議員
19日	特別養護老人ホーム結の里敬老会	副議長
20日	ことぶき荘長寿を祝う会	議　長
26日	岩手県町村議会議長会定例理事会臨時総会及び政務調査会（盛岡市）	議　長
28日	町村議会議員シンポジウム（盛岡市）	議員3名
28日	村シルバースポーツ大会	議員8名

10月

１～４日	北部地区町村議会議長会視察研修会（東京都）	議　長 副議長
17～19日	岩手県町村議会議長会政務調査会研修会（京都府）	議　長
26日	全国漁港漁場大会（大阪府）	副議長
26日	東日本大震災支援に対する御礼訪問（愛知県）	副議長

11月

８・９日	岩手県町村議会広報研修会（花巻市）	議員3名
12日	県北広域振興圏市町村等研修会及び情報交換会（一戸町）	議　長
19日	地方議会活性化シンポジウム2018（東京都）	議　長
20日	岩手県町村議会議長第３回定例理事会（東京都）	議　長
20日	岩手県町村議会議長会第３回政務調査会及び衆議院議員永年勤続25年鈴木俊一先生を囲む会（東京都）	議　長 副議長
21日	岩手県町村議会議長会政務調査会研修会及び町村議会議長全国大会（東京都）	議　長
26日	国道281号整備促進期成同盟会要望活動（宮城県）	議　長
27日	国道45号堀内地区道路工事安全祈願祭（普代村）	議　長
29日	久慈地区市町村議会連絡協議会研修会（普代村）	議　長

発行責任者
議長　貳又　正人

広報編集委員会
委員長　中川　大和
副委員長　米田　忠一
委員　岩岡　吉比古
委員　八幡　文耕
委員　内野澤　進

あとがき

穏やかに明けた新年でしたが、雪はほとんど降らず、異常乾燥の日々が続いています。そのためか、全国的にインフルエンザが猛威を振るっています。皆様におかれましてはくれぐれもご自愛ください。

さて、広報ができましたのでお届けします。見やすい紙面づくりを心がけていますが、お気づきの点、広報に関するご質問などがありましたら、お寄せください。

米田（忠）